

学生が三原市人権問題意識調査の関連業務に参加

三原市との地域戦略協働プロジェクト事業 進捗状況報告

三原市との平成 29 年度の地域戦略プロジェクト事業として実施している「人権教育・啓発の現状と今後の課題について」において、下記のとおり三原市民を対象とした実態調査を実施しているところです。

<三原市人権問題市民意識調査の概要>

【調査対象】 三原市民（満 16 歳以上 2,000 人 無作為抽出）

【調査方法】 郵送によるアンケート調査

【調査項目】 ○市民の差別や人権侵害に対する意識

○女性・子ども・高齢者・障害者など属性別の市民の人権意識

○インターネット・同性愛・被災者など差別の新しい分野についての市民の人権意識

○人権に関する法制度、人権週間などの市民の知識など

<現在の進捗状況>

三原市の担当課と大学のプロジェクト担当教員が作成した調査票のたたき台をもとに、の関係する課・係や委員会で検討し精査した調査票を市民に送付した。

※学生が、調査票の発送作業の補助や返送された調査票の内容を確認し、調査票を整理しました。その入力内容を集計するなど、実態調査の補助や協力することで事業に参画しました。

